

<2面>

- ・2026春闘が始まりました
市職労2026年春闘期独自要求(案)
- ・新春お年玉クロスワードパズル 正解発表



2282 '26
(横組み 1869)
2/15

定価1部10円(組合員の購読料は組合費に含んでいます)
神戸市中央区磯上通4-1-6 神戸市職員労働組合
発行人/黒田 崇 / 編集人/村上敏光 / ☎078-595-6200
メールアドレス kobe4449@kobeshisyokurou.com

神戸市民病院機構法人本部担当者交渉

病院当局、旅費制度の見直し等について提案

市職労、法人職員の給与改定を強く求める

2月12日、市職労は、西森総務課長をはじめとする神戸市民病院機構法人本部代表と担当者交渉を行いました。この交渉で、①旅費制度の見直し、②育児等に関する制度改正、③夏季作業手当の創設、④育児・介護により転居した職員への新幹線等に係る通勤手当の支給について提案がありました。

市職労は提案について、持ち帰り協議することとしました。また、法人職員の給料表について、改めて引上げ改定を実施するよう求めました。

西森課長：市職労本部のみならず、平素より「安全・安心な医療の提供、患者サービスの向上」ならびに本機構の運営に多大なご理解・ご尽力をいただきまして、ありがとうございます。

本日は、「旅費制度の見直し」「育児等に関する制度改正」「夏季作業手当の創設」「育児・介護により転居した職員への新幹線等に係る通勤手当の支給」について、提案させていただきます。

(提案資料に基づき説明/資料は市職労ニュース病院版に掲載)

医療現場の職員の引上げがないのは納得できない

市職労：提案については、持ち帰り協議します。一点、申し入れをさせていただきます。

法人職員の給与について、給料表は国立病院機構等の

給料表に準拠しており、国立病院機構の改定がなかったため、2025年度の改定がなされていません。全国的に病院経営が厳しくなり、他都市の公立病院においても、給与改定がなされていないことは認識していますが、全体で見れば、今年の春闘で大幅な賃上げあり、今年も賃上げが進むと予測されているなかで、医療現場の職員が引上げをされないのは納得できません。

物価高に苦しんでいるのは、機構職員も同じです。市民のいのちと健康を守り、必死に頑張っている機構職員がモチベーションを保ちながら働き続けることができるよう、給与の引上げ改定を実施するよう求めます。現時点での、給与の引上げ改定、2025年度分の扱いに対する考え方を聞かせていただきたい。



処遇改善が重要な課題であることは、法人としても十分に認識している

病院機構：まず、厳しい経営環境や人員不足が続く中で、市民の命と健康を守るために日々現場で奮闘されている職員のみならず、深く感謝申し上げます。昨今の物価高騰が職員の生活に多大な影響を及ぼしており、モチベーション維持のために処遇改善が重要な課題であることは、法人としても十分に認識しています。当機構の給与制度につい

ては、これまで申し上げてきた通り、給料表については国立病院機構に準拠し、諸手当につきましては神戸市に準拠するという方針をとっています。

ご認識のとおり、諸手当については、国立病院機構や他都市の病院機構と比較しても高い水準を確保するよう努めています。一方で給料表については、準拠元である国立病院機構において、現時点では、改定の是非を含めて検討段階に留まっているという背景があります。

市職労事務所の案内

直通	代表	078-595-6200
	会計	078-595-6201
	Fax	078-595-6204
内線	執行部	971-6653・6656
	全労済	971-6652
	自治労共済	971-6651
	会計	971-6657
	Fax	971-6999



国立病院機構の動きと機構の厳しい経営状況を見ながら検討していく

こうした中、国において「物価高騰」と「賃上げ」の2軸による支援策が具体化しました。今回の施策は、国の令和7年度補正予算による一時的な「給付金」から、令和8年度の診療報酬改定による「恒久的な評価」へと、段階的に財源が引き継がれる「リレー形式」で実施されるものです。この国の動きについては、現在、その詳細や当機構の経営への影響について精査を行っている段階です。

当機構としましては、2025年度分の扱いを含め、まずは国立病院機構の動向をしっかりと注視すること

が不可欠であると考えています。国立病院機構がどのような方針を打ち出すのか、その動きを正確に捉えた上で、当機構の厳しい経営状況と照らし合わせながら、適切な対応を検討していきます。職員のみならずのご尽力には可能な限り報いたいと考えていますが、現時点ではこうした状況にあることをご理解いただきたい。

給料表の引上げを強く求めます

市職労：神戸市民病院機構の経営状況が厳しいのは理解できますが、先ほど説明のあった国の支援策が実施される中で、引上げを実施するよう、申し入れておきます。



冬季オリンピックが始まっています。今回も注目選手が多い中、どれだけのメダルを獲得できるのか、期待が高まりますね。▲私も先日、スキーの道具を新調しました。これまでのものは、板もブーツも20年前に購入した年季ものです。壊れるこ

ともなく使い続けてきましたが、最近ではブーツを履いているだけで足が痛くなり、1シーズンに滑っても数日だけ、技術レベルや年齢的にもあと何回滑るのかを考え、ブーツぐらいは買い換えて板はレンタルでいいかなと消極的にもなっていました。▲先月、その道具を引っ提げて信州へ滑りに行ってきました。1日滑った

だけで足が痛くなり、2日目は大雪の中ドライブへ。近くのスキー場内にあるショップになんとなく立ち寄るとセール品のブーツがあり、なんとなく試着。履き心地と歩きやすさに思わず購入してしまいました。支払い後に「20年前の板じゃこのブーツは使えないかも」と言われ、騙されているような気もしながら、セールで

半額以下となっていた板まで購入。▲少し高めの出荷買いになりましたが、3日目は少し上手くなったような気がした(雪質のせい?)のと、滑った後の足への負担が減ったので、引退までの最後の道具として大切に使おうと思えました。▲帰宅後は、もちろん妻には気付けられないように、こっそりと物置に隠しています。

投稿募集

- ☆市職労への要望
- ☆身近に感じる疑問、矛盾、改善への提案 etc.
- ※教宣部まで

掲載させていただいた方には素敵な記念品を進呈!

氏名()
所属()
匿名希望 有・無
ペンネーム()

2026春闘が始まりました

市職労は2026春闘方針(案)を2月25日開催の第2回支部代表者会議で討議します。昨年に引き続き、大幅な賃上げや休暇制度など労働条件の改善に向け、春闘方針を提起し学習会等に取り組みます。働きやすい職場、賃金労働条件の改善を目指して、組合員のみならず皆さんの声をお待ちしています。

I. 情勢の特徴(抜粋)

1. 2月8日に執行された第51回衆議院議員総選挙では、自民党が、改選前の198議席を大きく上回り、憲法改正発議、参議院で否決された法案の再可決が可能となる衆議院の3分の2を超える316議席を確保する結果となり、日本維新の会と合わせると352人の巨大与党となりました。これにより、与党が過半数を割る参議院で法案が否決されても衆議院で再可決できるようになり、憲法改正の発議も可能となりました。高市首相は信を得たとして、「責任ある積極財政」のもとで財政規律を蔑ろにした経済対策、さらには安保関連3文書の早期改定、インテリジェンス・スパイ防止法の制定、外国人規制の強化などを推し進めることが想定されます。しかし、今回の選挙において高市政権が掲げる政策の具体は明らかにされておらず、

「白紙委任」を得たわけではありません。
2. 私たち、生活者・労働者を取り巻く状況は、円安の進行によって、エネルギーや原材料などのコストが高騰したことで、物価は上昇し続けており、全国消費者物価指数も11月時点で前年同月比3.0%上昇する結果となっています。また、11月の毎月勤労統計調査(速報)では、名目賃金が47ヵ月連続で伸び続けているものの、実質賃金は11ヵ月連続のマイナスとなっており、取り巻く環境は厳しい状況が続いています。好調な企業業績を労働者に労働の対価として適正に分配させることは当然のことながら、政府の打ち出す「賃金と物価の好循環」の実現にむけ、2026春闘も引き続き、労働組合が積極的に賃上げを求めていく必要があります。
3. 昨年の賃金確定闘争では、全級・全号給の給料表の大幅引上げや地域手

当12%の維持など私たちの要求が大きく前進しました。一方で、自家用車等利用者の通勤手当の課題については、国の詳細が明らかになっていないことから、積み残されたままとなっています。再任用一時金については、神戸市人事委員会に要求していきながら、国に対し、制度変更を求める声をあげていく必要があります。自治労は、今春闘の中で、対人事委員会団体署名行動に取り組みとしており、市職労は市労連に結集しながら引上げを求めていきます。市職労は、引き続き組合員が退職まで安心して働き続けられる給与制度や労働条件・職場環境の改善のために、取り組んでいきます。

II. 闘争の課題

1. 労働者と国民の生活を守るたたかい
労働者保護ルールの充実、国民生活の改善、格差の解消、年金制度の改善など

策制度の前進をめざします。労働基準法や労働者派遣法の抜本改正、最低賃金の引上げなど、安心して働き続けられる政策への転換をめざす取り組みを強化します。
2. 憲法と民主主義を守るたたかい

憲法の基本理念である平和主義、国民主権、基本的人権の尊重を普遍化し、第9条を堅持するため、改憲策動を許さない取り組みが必要です。市職労は、自治労本部も加盟している「戦争をさせない1000人委員会・ひょうご」の賛同団体であり署名や街頭宣伝などに取り組んできました。

引き続き憲法改憲に反対する取り組みをすすめていきます。

3. 地方財政の切り捨てに反対し、市民生活を守るたたかい

指定管理者制度や独立行政法人化などによる公共サービスの規制緩和、委託・民営化が進められ、地方における公共事業は大きな後退

を余儀なくされました。地方創生・地方の活性化が求められている中で、地域公共サービスの実態に見合った財源保障を求め、市民サービスの向上や市政の発展をめざします。

4. 市職労春闘の推進

市職労春闘は、組合員の身近な要求を前進させるとともに、秋の賃金確定闘争や独自要求の前進につながる重要な取り組みです。神戸市で働くすべての職員の賃金改善をはじめ、再任用職員の一時金の引上げ、超勤縮減・サービス残業の根絶、独自要求課題の前進に全力をあげます。また、中央行動など全国的な運動と合わせて、学習会や職場懇談会の取り組みを通じて要求議論をすすめます。

5. 被災地支援の取り組み

市職労は、被災地支援カンパや被災地支援ボランティアなど被災地を支援する取り組みをすすめてきました。これからも阪神淡路大震災の経験や国内外からの支

援への感謝を忘れず、市民と連帯して国内外の被災地支援の取り組みをすすめていきます。

III. 闘争体制の推進と闘争資金及び学習宣伝活動

- 1. 批准投票の実施(略)
- 2. 当面の日程(略)
- 3. 宣伝・学習活動

労働者と国民の立場にたった宣伝や学習活動を行い、全組合員の情勢認識を深めながら、諸要求の実現をめざした取り組みをすすめます。学習会の開催や機関紙・HPを活用することにより、情勢報告をすすめていきます。

4. 自治労への分担金と支部への助成金

(1)自治労大会で決められた組合員一人あたり闘争資金年額4,500円については、組合員から徴収せず市職労本部会計から負担します。(2)各支部での創意工夫による意見集約や職場懇談会・学習会等の経費を支出し、闘争体制の確立を図ります。

新春お年玉クロスワードパズル 正解発表

新年特集号の新春クイズの正解は下記のとおりです。正解者数が募集枠内でしたので、今回は正解された方全員が当選者になります。今回のパズルは、文字を並び替えると問題が出て、その答えを書いていただくというもので、ヒントは盤面のサッカーボールでした。正解者には後日QUOカードを送付します。お楽しみに!!
【1名、氏名の記載がない方がありました。今月中に賞品が届かない場合は市職労：村上までご連絡ください】

ジ	チ	ロ	ウ		ハ	チ	ミ	ツ		セ		イ	タ	リ	ア
キ	ヨ		ツ	イ	チ	ヨ	ウ		ウ	イ	ス	キ	ー		ン
ユ	キ	ダ	ル	マ		シ	ゴ	ト	ハ	ジ	メ		タ	ン	パ
ウ		ツ		ル		ヤ	キ	ユ	ウ	カ	ン	セ	ン		ン
リ	ス	ボ	ン									キ		ム	
ヨ	ト	ウ			イ	マ		ス	ツ	キ	リ		カ	ナ	ダ
ク	ロ			ワ	オ	ン		ジ	カ	ン	キ	ユ	ウ	カ	
	ベ	ニ	シ	ヨ	ウ	ガ		コ	ウ	キ	ヨ	ウ		タ	コ
コ	リ	ン										タ	シ	ユ	
バ	ー	ゲ	ン	セ	ー	ル		イ	マ	ハ	ム	カ	シ		ウ
ヤ		ン		ト		ー		メ	キ	シ	コ		カ	ズ	
カ	ワ	ド	コ		ハ	プ		チ		ラ		ア	メ	リ	カ
ワ	ル	ツ		サ	ン	シ		エ	ン	ド	ロ	ー	ル		ク
	ア	ク	ス	イ		ユ		ン		ケ		ノ		リ	ハ
イ	ガ		パ	フ	ユ	ー	ム		ア	イ	ボ	ル	ト		イ
エ	キ	デ	ン		カ	ト	ウ	チ	ヤ		マ	ド	グ	チ	

問題 2026 ワーールドカップ かいさいこく

答え アメリカ カナダ メキシコ

市職労2026年春闘期独自要求(案)

- 神戸市で働く全職員の月例給と一時金を引き上げること
- 再任用職員の一時金を正規職員と同じ月数とすること
- 高齢期雇用について、60歳以降の働き方が多様化される中、該当者への制度の周知と働き方や職場配置について本人希望を尊重すること
- 勤勉手当の支給について標準者からの減額を行わないこと
- 住居手当制度を守ること
- 三宮証明サービスコーナーの特殊性に見合った処遇とすること
- 36協定と超勤縮減指針を順守し、過度な超過勤務、サービス残業と長時間労働をなくすこと
- 育児短時間勤務制度や在宅勤務制度、フレックスタイムなど多様な働き方の選択が可能となる中、職員が安心して制度が利用できるよう職場環境の充実に努めること
- パワハラ・セクハラ・カスハラなどあらゆるハラスメントに対し、迅速に対応すること
- 各種システムの変更や導入に対して必要な情報を職員に共有するとともに、職場の意見を尊重すること。また十分な研修期間を確保し職場に混乱をきたすことのないようにすること
- 風通しの良い職場づくりをすすめるため、各所属におけるコミュニケーションを大切に、所属長等が職員の意見を十分に聞いて働きやすい職場づくりをすすめること
- 災害対応や選挙事務をはじめ、感染症対策など短期間に多くの職員の応援を必要とする突発的業務に対応できるようリスク管理も含めた体制を確保すること
- 年度当初に各職場における正規職員、再任用職員、会計年度任用職員の欠員を生じることのないようにすること
- 誰もが使いやすい福利厚生制度とすること
- 独立行政法人(神戸市民病院機構・神戸市公立大学法人)への経営支援を継続して行うこと